

市民コミュニティ財団発

「認知症まちづくり」白書発行記念シンポジウム

# たとえ認知症になっても、 自分らしく生き続けられる社会とは？

～認知症×地域づくり×啓発のアップデートについて考える～

日時：2025年2月28日（金）15時～18時

会場：沖縄県総合福祉センター403研修室



定員：80名

（事前申込制）

主催 沖縄認知症見守りコンソーシアム  
（公益財団法人みらいファンド沖縄・公益社団法人沖縄県地域振興協会）

後援 沖縄県、一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

参加ご希望の方は  
右記のQRコードから  
お申込ください



この3年間、休眠預金を活用し「認知症の方々も安心・安全な外出を担保できるまちづくり事業」を行いました。私たちは、福祉の専門家ではない市民コミュニティ財団だからこそ地域に貢献出来ることは何だろうと問いつづけながら、助成先実行団体と共に歩んできました。誰もが「自分らしく生きたい」と願う反面、認知症本人を起点に社会をとらえ直してみると、数多くのバリア（障壁）があることが分かりました。

私たちは、これまでの活動成果や調査結果について白書という形でまとめました。本シンポジウムでは、実行団体の成果と課題を振り返り、新たなみまもりの選択肢としてのミマモライド、居場所の役割について話し合い、また、これからの共生社会のあり方について、私たちなりの提案を行います。

## プログラム

### 【分科会1】

テーマ：実行団体の活動成果と課題を振り返る

登壇者：<進行>幸地（落合）千華氏（一般社団法人CoAr）、実行団体5組、担当プログラムオフィサー

### 【分科会2】

テーマ：新たな“みまもり”の選択肢としての『ミマモライド』と居場所

登壇者：<進行>平良斗星（公益財団法人みらいファンド沖縄）、田中将太氏（琉球大学人文社会学部）、阿波連愛香氏（NPO法人グランアーク）、桃原徹貞氏（社会福祉法人南風原町社会福祉協議会）

### 【分科会3】

テーマ：これからの共生社会について、新しい認知症観から考える

登壇者：<進行>平良斗星（公益財団法人みらいファンド沖縄）、猿渡進平氏（医療法人静光園白川病院）、新里勝則氏（沖縄県認知症希望大使）、新里初美氏（ご家族）石川直希氏（沖縄県保健医療介護部）

## 助成先実行団体

本事業の実行団体は、それぞれの地域で様々な認知症に関わる活動を行い、ミマモライドの敷設を広げてきました。参加者の主体性を重視し、認知症当事者とそうでない方の間に「見守る人・見守られるべき人」という関係性を超えたフラットな水平関係を目指してきました。本シンポジウムでは、実行団体の活動報告を行い、課題について共有します。

### NPO法人グランアーク

認知症の方々も豊かで安心・安全な生活を担保できるまちづくり事業

### 社会福祉法人西原町社会福祉協議会

あんしんおさんぽ事業

### 社会福祉法人南風原町社会福祉協議会

安心ライフサポート事業

### 医療法人アガペ会

コロナに負けない健康な村づくりと農業リハビリテーション

### 合同会社Green Star OKINAWA

若年性認知症の人の居場所づくり

## ミマモライドとは

認知症ご本人を主体にした外出支援システム。みまもりタグを身につけて外出してもらうことで、自販機などに設置した子機センサーが位置情報をLINEでお知らせ。「大袈裟な検索をしない」をコンセプトに、平時と有事の状況に合わせた見守りを目指す。企業や多様な方々の地域参画を促す寄付型モデルです。



ミマモライドの詳細はこちら

<https://mimamori-jihanki.jp>

## 問い合わせ先

【休眠預金】認知症の方々も安心・安全な外出を担保できるまちづくり事業

公益財団法人みらいファンド沖縄 〒901-2102 沖縄県浦添市前田1-6-24 トミハウス1階

TEL：098-963-7969 Email：mimamori@miraiFund.org（担当：松田）

